

事業所における自己評価結果(公表)

職員8名、回収率100%

公表:令和 2 年 3 月 1 日

事業所名 児童発達支援事業所 きらり水島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		カーテンやパーテーションで活動毎にエリアを設けており、分かりやすい。	利用児に合わせて、構造を定期的に見直す。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		出入口・トイレ等、建物の構造上バリアフリーに至っていないエリアがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃と毎週の衛生安全点検が行き届いている。活動内容によっては、構造を変える・利用児の嗜好に合わせた遊びを設定している。	日々、玩具や室内の環境チェックを行うことで、お子さんが過ごしやすい環境を設定していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		OJTや階層別研修、業務目標管理等で定期的に業務を見直している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		H30年度の意見はH31年度の事業計画に反映している。年度初めにアンケートをとり、保護者の希望や意向を把握した上で活動を進めている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所評価についてホームページに掲載している。	通信や直接配布にて保護者に確実に伝わるよう工夫する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第三者評価を受審した結果を基に事業計画等に反映させている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人内研修や、センターと合同の研修を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		法人内の共通アセスメントシートを活用している。計画については、チームで立案している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当が計画案を作成し、職員の見解を交えながら組み立てている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		一定の生活の流れに慣れてきたタイミングで、利用児によっては意図的に変更を設定している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			あくまで集団活動が複数人の小集団である。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼にて、職員間で当日の打ち合わせを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々の振り返りは、文書にて記録している。意見交換については、今年度は曜日を固定して実施している。	昼礼の時間が設けられない日は、終礼をする等検討する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本的には児発管が参加し、事業所職員に周知している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健師との連携が図れている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在、医療的ケア児の受け入れを行っていない。必要に応じ、法人内の事業所を紹介する等して対応。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の意向に沿って、移行先の所属園(学校)に書面を用いて引継ぎ等を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		法人内で特に拠点で連携を図っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		子ども部会の研修会に児発管が参加し、職員に内容周知している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		迎え(送り)の引継ぎ時間に、当日の姿だけでなく普段の様子等について話している。	送迎が同居の保護者以外(祖父母や事業所職員等)の場合のやりとりの機会を今後も検討。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		年間2クール実施		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会はないが、茶話会や勉強会を通し、保護者間の交流を図っている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月通信を発行	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		マニュアルに沿って対応。掲載する場合は、再度目的と内容を個別に確認。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			法人の地域公益活動として、カフェや赤ちょうちん、交流会等を実施している。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時、通信にて保護者に周知	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月実施	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		見学時に確認。利用決定時にも確認し、対応を書面管理。現場でも確認できるようまとめている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリ事故発生後と、毎月職員会議にて振り返っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修は嘱託派遣を含め、前職員が受講。事業所で目標行動を設定し、毎月振り返ったり、目標を再設定したりしている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。